

6. 設計企画提案等におけるBIM活用

BIM Utilization in the Building Design, Planning, and Proposal

杉山 駿^{*1} 中村 和晶^{*1} 一天満谷 奈緒子^{*1} 島田 綾子^{*1}



図-1 BIM概念図



図-2 ⑥設計施工モデル案件試行 (事例: IBC)



写真-1 ③全店設計部対象 設計コンペの実施

表-1 BIM活用施策

設計段階における BIM活用	①	企画設計案件におけるBIM活用
	②	BIM活用のためのツール整備
	③	全店設計部対象 設計コンペの実施
	④	PFI業務におけるプレゼン動画作成
設計から施工への 連携	⑤	BIMビューアの導入試行
	⑥	設計施工モデル案件試行

□ 目的

2009年頃から建設業界内でBIM (Building Information Modeling) が話題となり、2016年の現在では、設計・施工・積算の幅広い範囲で活用されるようになってきている。(図-1 BIM概念図) 浅沼組においても昨年度『BIM推進室』が新設され、本格的なBIM運用計画の策定及びBIM運用を開始した。また、平成27年度より実行されている当社の中期3ヵ年計画においても、「BIM活用による生産性の向上」が謳われており、あらゆる場面での業務効率の改善と向上に向けた取り組みが求められている。

業務効率化・生産性向上に向けた他社のBIMへの取組状況や動向、建設業界の変化への対応に加え、BIMを利用し高度化していくプレゼンテーションへの対応なども視野に入れる必要があると考える。また、企画設計段階におけるパース作成など、外注費負担の削減を図るとともに、基本設計段階における顧客とのイメージの共有・合意形成の円滑化による手戻りの防止による効率的な設計業務を推進する必要がある。

□ 概要

本技術発表会では、中期3ヵ年計画に沿って策定したBIM推進室3ヵ年計画の初年度(平成27年度)における「設計段階のBIM活用状況、BIM活用事例」の報告及び情報の水平展開をするとともに、本年度に試行予定である「設計から施工への連携」の一端を報告する。表-1にBIM活用施策の内容を示す。

□ 結論

BIMの設計段階における更なる展開、設計から施工への連携を試行することにより、設計段階から施工段階における一連の流れの中で、より有効にBIMを活用し、業務効率化・生産性向上の一助となれば幸いである。また、全店の設計及び施工、また関連部署への情報の水平展開、BIMの普及により、より一層の生産性向上を目指したい。

* 1 本社建築事業本部BIM推進室